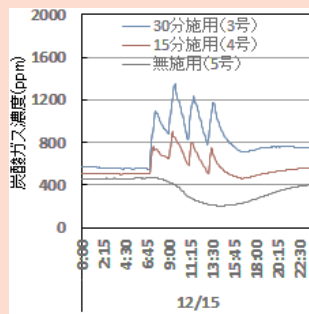


- 北栄町とJA鳥取中央が出資し設立した大規模イチゴ生産法人（以下、農場）が低コストで効率的な設備による「儲かる」農業の実現のため、**ICT機器等の導入による環境モニタリングデータを活用した栽培**を目指す。
- 専門技術員の直接支援課題として、**環境モニタリングデータの活用方法、生育・収量との関連を検討**し、管理マニュアル作成等を支援。
- 農場に適した**炭酸ガス施用や土壌水分センサーの活用方法を明らかにし、目標収量を達成**。これらの手法をもとに農場が継続してモニタリング、生育調査データの蓄積を行い、適切な管理方法を構築していく。

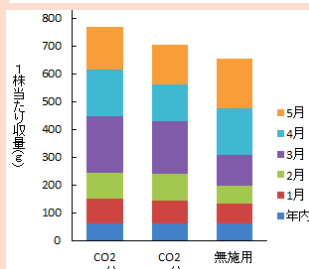
## 具体的な成果

### 1. 農場に適した炭酸ガス施用方法の確立

- 日中の炭酸ガス濃度を 800ppm に維持する農場に適した**炭酸ガス施用パターンを確立**。



- 炭酸ガス施用期間中の培養液ECを高めて管理することで炭酸ガス施用効果が向上し**反収4.4tを達成**。



### 2. 土壌水分のモニタリングによるかん水指標の作成

- 土壌水分のモニタリングにより、急激な水分消費量増加による**土壌水分の変化を数値として捉え**、一日当たりかん水回数を管理することが可能になった。

### 3. 農場による生育調査データの蓄積と年次間、ほ場間比較の実施

- 数値記録の重要性を認識し、**農場自らが積極的に取り組めた**。
- 農場で生育調査のデータを蓄積し、ほ場、年次を比較。



## 普及員の活動内容

### 1. 環境モニタリングシステムの活用支援

- モニタリング項目ごとの**データ解析によるモニタリングシステムの実用性検討**。
- 農場の生育調査方法習得のため、**農業改良普及所と連携し**、調査の実施を支援。

### 2. 環境制御試験の実施支援

- 農場に適した管理方法を確立するための栽培試験の提案と実施支援および試験結果を解析。
  - **効果的な炭酸ガス施用方法の検討**
  - **EOD加温、FR照射の効果確認**

### 3. 技術支援チームによる栽培管理方針の検討

- 営農指導員、改良普及員、試験場研究員、専技で**技術支援チームを結成**し、状況に応じて農場担当者と課題解決に向けた管理方針を検討。
- 栽培実績検討会の開催支援と次年度の試験内容の協議。

## 今後の普及活動に向けて

- 農場主体の環境モニタリングと栽培試験の継続。
- 栽培面積拡大に伴う農場運営・栽培管理の効率化。
- 農場で確立した炭酸ガス施用方法の県内イチゴ栽培への応用。